



訪問しました!

# こうべ男女いきいき事業所

## 昭和精機株式会社

平成24年度は、市内の6社が「こうべ男女いきいき事業所」に選ばれました。今回はその一つである昭和精機株式会社を訪問。社員35名の同社は機械部品製造の優れた技術を持つ一方、男女がともに長く柔軟に働ける職場環境を整えています。

代表取締役社長 藤浪芳子さん



藤浪芳子さん

### 社長自らの経験が働きやすい職場の土台に

神戸市西区に本社工場を持つ昭和精機株式会社は、昭和22年創業の機械部品メーカーです。藤浪芳子さんが社長に就いたのは昭和56年のこと。創業者である実父から藤浪さんの夫に経営権が移るなか、その夫が突然姿を消してしまったのです。専業主婦として平穏に暮らしていた藤浪さんは急遽社長業をまかされることに。専門の勉強はおろか、会社勤めすら経験したことのない女性にとっては何もかもが未知の世界でした。

「一番つらかったのが、子どもを残して仕事に行くことでした。当時長女が8歳、長男が4歳。朝7時頃に家を出ると夜10時11時まで帰れず、母親として子どもに関わる時間が本当に取れませんでした」と藤浪さんは当時を振り返ります。30年前のこの苦い経験は、現在の「だれもが働きやすい職場」につながりました。特別な制度を設けるのではなく、状況や事情に応じて社員が働き方を柔軟に選択できるのが同社の最大の特徴。トップ自ら、社員には育児や介護などその時にしかできないことを優先させてほしいと願っているからです。

「小さな会社ですから、実際は1人休まれても大変です。それでも人生にはいろいろな時期があります。いつでも安心して仕事を休める環境がどうしても必要なのです」。

そのため社員教育や技術指導に力を入れ、だれかが急に休んでも周囲がきちんとカバーできる体制を整えてきました。幅



生産現場でも男女の区別はなし。やりがいを持って仕事ができます

広い工程を担当できる「多能工」を育てているのもその一環です。「休みやすい環境」をつくるために積み重ねたこうした工夫は、スキルアップ意欲の向上や生産性の向上、社員の定着率向上にも役立っています。

### 一人ひとりの多様な働き方を会社全体で支える

子どもが小さいうちは勤務時間を短くしたい、親の介護にしばらく専念したい…。社員から出てくるさまざまな要望に応えながら仕事と生活の両立を支える同社では、時短や休業など最適な方法をその都度選択。一人ひとりの社員に応じたオーダーメイドの支援をきめ細かに用意してきました。

「長く勤めてもらうためにどうすればいいのか。追求して出てきた答えは多様な働き方を会社全体で支えるということでした」と藤浪さん。朝礼などでも「だれがいつどうなるかわからない」「その時はみんなで支えよう」というメッセージを送り続けています。

「人生の目的は幸せに生きること。そのための職場だということをお忘れてはいけません」。

状況に応じたイレギュラーな働き方と休み方を、制度やルールではなく社員みんなで支える仕組みは、もはや社風として定着したと藤浪さんは感じています。

「ワークライフバランスが進むと損をすると言う経営者もいますが、それは逆。目先の利益にとらわれていると本当に大事なものが見えなくなってしまいます。うちはいいい意味でのファミリー企業。みんな家族のようなものです。支え合い助け合うことで社員も会社も成長できればと思います」。

突然の社長就任から30年余り。藤浪さんの陣頭指揮で会社は大きく成長しました。そしてまた、働く社員も仕事と家庭の両方を大事にできる環境で充実した日々を過ごしています。